

平成30年度「地域型住宅グリーン化事業概要

地域型住宅グリーン化事業 平成30年度予算案: 115億円

地域における木造住宅の生産体制を強化し、環境負荷の低減を図るため、資材供給、設計、施工などの連携体制による、省エネルギー性能や耐久性等に優れた木造住宅・建築物の整備に対して支援する。

グループの構築

共通ルールの設定

- 地域型住宅の規格・仕様
- 資材の供給・加工・利用
- 積算、施工方法
- 維持管理方法
- その他、グループの取組

補助対象(住宅)のイメージ … 補助額: 増増し費用の1/2以内かつ対象事業費の1/10以内

長寿命型 補助限度額 110万円/戸 ※1
長期優良住宅

高度省エネ型 補助限度額 110万円/戸 ※1
認定低炭素住宅 110万円/戸 ※1
性能向上型認定住宅 140万円/戸 ※2
ゼロ・エネルギー住宅 140万円/戸 ※2

※1 4戸以上の施工経験を有する事業者の場合、補助限度額125万円/戸
※2 4戸以上の施工経験を有する事業者の場合、補助限度額100万円/戸

地域材活用 …… 主要構造材(柱・梁・桁・土台)の6割以上が地域産を使用する場合、20万円/戸を限度に補助額を加算
三世帯別区分 …… 玄関・キッチン・浴室又はトイレのいずれか2つ以上を境線別区分する場合、30万円/戸を限度に補助額を加算

優良建築物型 補助限度額: 1万円/平米(床面積)
認定低炭素建築物など一定の良質な建築物

国土交通省は全国で平成30年度省エネ等良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度の説明会を開催中。

この中で「**地域型住宅グリーン化事業**」は前年度と同じく長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型とし、**4月頃より公募開始予定**と発表。

補助額は
長期優良住宅 110万円(実績4戸以上は100万円)
ゼロエネ住宅 140万円(実績4戸以上は125万円)の予定。

情報提供: 国土交通省

LCCM住宅新築の支援を強化

国土交通省は、「**LCCM住宅**」の新築に対する支援を強化する。住宅・建築物の省CO2化を進めるプロジェクトを支援する補助事業「サステナブル建築物等先導事業(省CO2先導型)」の2018年度分で、LCCM住宅部門を創設する。

LCCM住宅とは、使用段階だけではなく、資材製造や建設段階、解体時まで含めたライフサイクルで建物が排出するCO2を再生可能エネルギーの効果により、マイナスにする住宅のこと。

新設するLCCM住宅部門では、予算内で事業者からの応募を受け付け、戸数を配分するイメージ。同事業に合わせて、LCCM住宅の判定ツールを作成して、公開する。ツールはCASBEEのLCCM判定の機能をベースに、入力項目をより簡易にして使いやすくする。補助額は上限125万円



冬場: 窓を閉めルーバーを収納



夏場: 窓を開けルーバーで日射遮蔽

情報提供: 新建ハウジング

熱伝導率0.020の高性能断熱材を開発 春にも発売予定



カネカは、熱伝導率0.020W/(m・K)の押出法発泡ポリスチレンフォーム断熱材「カネライトフォームα(アルファ)」を開発。今春にも販売を開始する。

独自の高性能発泡剤の高濃度分散技術などによって熱移動を抑制。従来の「カネライトフォームスーパーE-III」(熱伝導率0.028)と比較して約30%、これまでの同社最高性能の「カネライトフォームFX」(同0.022)と比較してさらに約10%断熱性能を向上している。

カネライトフォーム従来グレードとの主な性能比較表

特性項目	α	FX	スーパーE-III	試験法
密度 (kg/m ³)	25 以上	25 以上	25 以上	JIS A 9521
熱伝導率 (W/m・K)	0.020 以下	0.022 以下	0.028 以下	
圧縮強さ (N/cm ²)	20 以上	20 以上	20 以上	

情報提供: 新建ハウジング